

別紙

福祉サービス第三者評価の結果

1 評価機関

名称： 一般社団法人 しなの福祉教育総研	所在地： 長野県上田市下之条 804-39
評価実施期間：令和2年7月15日から令和2年11月13日 *契約日から評価結果の確定日（通常、評価結果報告会日）まで	
評価調査者（評価調査者養成研修修了者番号を記載） 16023 B18051 B18052	

2 福祉サービス事業者情報（令和2年7月現在）

事業所名：社会福祉法人 敬老園 （施設名）認定こども園 キッズ・うえだみなみ	種別： 認定こども園 幼保連携型	
代表者氏名： 理事長 斎藤俊明 （管理者氏名）園長 中澤幸子	定員（利用人数）： 50名（48名）	
設置主体：社会福祉法人 敬老園 経営主体：社会福祉法人 敬老園	開設（指定）年月日： 平成20年4月1日 （平成27年4月1日幼保連携型として）	
所在地：〒386-0018 長野県上田市常田1-4-12		
電話番号：0268-29-3735	FAX番号：0268-29-3732	
電子メールアドレス：kids@keiroen.or.jp		
ホームページアドレス：https://www.keiroen.or.jp/		
職員数	常勤職員： 14名 非常勤職員 0名	
専門職員	園長 1名	
	副園長 1名	
	保育教諭 10名	
	栄養士 2名（調理師兼）	
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	乳児ほふく室 1室	便所 1 野外遊戯室（園庭：滑り台・鉄棒・砂場）
	保育室 3室	
	子育て支援室 1室	
	調理室 1室	
	事務室 1室	

3 理念・基本方針

[保育理念]

- 一人一人の子どもの尊厳を大切にし、柔軟な心をもってあらゆる可能性のある、質の良い教育及び保育を目指します
- 公平公正な施設運営を旨とし、変化する時代を的確にとらえ、社会に貢献する健全な経営を目指します
- 心と心の結びつきを基本とし、取り巻く全ての関係を誠意と熱意を持って構築することを目指します

[教育・保育目標]

- ・思いやりのあるこども
- ・心も体も元気なこども
- ・意欲的に遊ぶこども

4 福祉サービス事業者の特徴的な取り組み

- 保護者のニーズに合わせた受け入れをしています。
 - ・核家族の増加、就労の多様化等により、保護者のニーズも様々ですが当園はそれぞれのニーズに合わせた様々なサービスを提供しています。仕事と子育ての両立等を応援するために、保育が必要とされる場合には365日24時間での受け入れ対応を行い（定員の需要時間により園の開園時間が設定されます）、状況によっては朝食・夕食・入浴も利用ができるよう準備がされています。また、生後43日目からの受け入れも行っています。
 - ・子育て支援事業として、一時預り保育や未就園児親子へのイベント開催、園開放、子育て相談や育児の情報提供を行っています。
- 異年齢混合学級（以上児）で教育・保育をしています。
 - ・3歳児～5歳児の1学級としての異年齢混合学級（28名）であり、年少担任（1名）と年中長担任（1名）の2名が担当し年齢に応じての教育・保育を行っています。
 - ・困っているとそっと手伝ってくれる年上の子どもや、年下の子どもは年上の子どもに刺激を受けて興味や関心の幅を広げ、年上の子どもを目標とするため実力以上の能力を発揮しています。良いことや悪いことがあることに気付き、友達と楽しく生活する中できまりの大切さにも気付き、友達との関わりを深め思いやりの心も育んでいます。
 - ・1学級なので子どもの主体性を取り入れながら遊びを広げ、活動の幅の広がりもあり状況により園バスでの戸外活動へと展開されます。
- 充実した幼児教育を展開しています。
 - ・専門講師での英語教室（外国人講師）やスイミング教室を行い、就労等で時間のない保護者の方からは好評となっています。子どもが持つ様々な興味や関心を広げ、経験を通して豊かな感性を育んでいます。
 - ・教育・保育室の中に厨房がある設計となっているため、食事を作る工程が見え、匂いを感じたり、食材に関心を持ったりすることができます。食事を作っている職員に感謝の気持ちを持ちながら早く食べたい、とおなかをすかせて食事の時間を迎えることができます。食育活動として調理体験や栄養についての話等を栄養士が中心となって進め「食」について積極的に取り組んでいます。
- 子どもの状況に応じた個別の対応（未満児）をしています。
 - ・一人ひとりの家庭環境や生活のリズムや発達状態を的確に把握し、個人差や特性を受け止め、個々の子どもの状況や欲求が受け止められるように個別の指導計画を立て保護者と共有して信頼関係を深めながら実践をしています。
- 複合併施設が充実しています。
 - ・有料老人ホームと乳児院との併施設です。高齢者の方との交流会を行ったり、雨の日には遊びに行ったりと高齢者の方との関わりから思いやりやいたわる気持ちが育っています。（誕生会を一緒に行い、年齢差を感じながら楽しい時間を過ごすなど）
 - ・乳児院の友だちとも仲良く園庭で遊びます。

5 第三者評価の受審状況

受審回数（前回の受審時期）	初 回
---------------	-----

6 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

◇特に良いと思う点

○子どもが自ら伸びていこうとする力を信じ、主体性を大切に**した教育・保育が展開**されていました。

・異年齢の教育・保育も取り入れながら、子どもたちが互いに刺激し合ったり助け合ったり影響し合ったりする場面や姿を見守り、時には助け舟を出しながら保育教諭は育てて欲しい子どもの姿を見据えて教育・保育を実践しています。

・英語教室やスイミング教室は専門職に依頼ししっかりとした基礎を育てています。子どもの視野を広げ家庭だけではできない経験をし、可能性の芽を育てています。

・職員全体に、子どもの育ちや課題を共有し理念に沿って教育・保育をしている自信や意欲が感じられました。園長、副園長のもと、保育教諭や給食担当職員がみな笑顔で気持ちよく仕事をしている姿が印象的です。今回の第三者評価の他にも自己評価が定期的に行われ自らの課題や目標を明らかにして教育保育にあたっていることがわかりました。

○**保護者との育ちの喜びの共有に努め、子育て支援**をしています。

・参加型教育・保育（お父さん・お母さんが先生になり半日参加する）を実施し、いろいろな子どもの姿を見たり子どもの園での活動、友だちとの関りの様子を実際に見たり経験したりすることで子育ての孤立感を軽減し子どものかわいらしき、子育ての楽しさを感じてもらおうお手伝いをしています。

・わんぱく通信を発行し、一年間の成長の様子を分かりやすく書面や画で伝えています。

・園での様子を連絡ノートや送迎時に常時伝えており、個別懇談も行い悩みや相談、成長の喜びを共有しています。特に園長が毎日保護者にかかる言葉は保護者にとって親しみが持て、園長は相談しやすい、なんでも話せる、といった保護者の信頼を得ていることがアンケートから読み取ることができました。

・ブログでの園での様子の公開（2日に1回掲載）をしています。継続していることに大変な努力を感じました。

○**一時預かりが充実**しています。

・一時預かりでは、保護者の就労や疾病、出産、育児からのリフレッシュ等の何らかの事由により家庭で保育ができない場合のお預かりを随時の予約と受け入れを行っていますが、状況により当日の予約利用もできることは未就園の子どもを持つ保護者にとって安心できる支援です。家庭での育児方針（トイレトレーニング等）に合わせた援助も行い記録をしてお渡しをしながら様子をお伝えすることで安心した体制があり地域のニーズに応えています。

○**併設した施設との交流**があります。

・乳児院の子どもたちとの交流では小さい友だちをかわいいと思う心、優しくしようとする気持ちを育てています。

・老人ホームの高齢者との触れ合いは核家族化の子どもたちにとって温かいぬくもりを感じたりゆったりとした時間の流れを感じる大切な時間です。

・様々な世代との関りの中で豊かな心を育んでいます。

○**非常時の対応と備え及び安全対策**がしっかりとされています。

・火災・地震・水害・防犯・Jアラート等の訓練を年間14回実施しており、消防計画に基づいて実施し報告をしています。非常持ち出しのリュック・防犯ブザー・催涙スプレー・さすまた等の準備をして万が一に備えています。また、3日間の食糧・水・衛生用品等の備蓄も確保しています。

・毎月、園内の設備・遊具等の安全点検や環境チェックを全職員で行い改善をして安全管理に努めています。また、危険と思われる行動や状況をヒヤリハットとして毎月あげ検証をして再発防止に努め常に改善をして取り組むなど安全対策には何重ものチェック体制を整え子どもたちの安心・安全を確保しています。

・設備的にも、セキュリティ等の完備が徹底されています。

※玄関自動ドアのロック・玄関防犯カメラ・園児IDカードでの管理

・コロナ対策（体温チェック、手指の消毒、マスクの推奨 など）

・保護者はカードを所持し子どもを安全に保護者に帰すことが徹底されていました。

◇特に改善する必要があると思う点

○教育・保育スペースの更なる工夫が期待されます。

- ・園内の各部屋のスペースの面積には限りがあるため、廊下を使い遊びのコーナーを設置し定期的に遊びの提供を工夫していますが、更に、活動の時間帯や子どもの成長に合わせたスペースの有効活用を工夫し、楽しい空間づくりの検討が期待されます。

○子育て支援事業の推進や新しい取り組みが期待されます。

- ・新型コロナウイルス感染予防のため各家庭での生活環境の変化がありました。一時預かりの需要も激減するなどしている中、子育てへの支援方法も今までとは違った考え方で新たに模索、検討をして取り組んでいくことが期待されます。

7 事業評価の結果（詳細）と講評

- ・共通評価・・・(別添 1)
- ・内容評価・・・(別添 2)

8 利用者調査の結果

アンケート方式の場合（別添 3－1）

9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント（別添 4）